中学生でも解ける東大大学院入試問題 (180)

2015-04-26 11:21:45

こんにちは。東久留米市の学習塾塾長です。

夏のように、夕方にわか雨が降ったりしますが、毎日良い天気が続きます。今日の予想最高気温は24℃で、夏日まであと1℃です。

さて、今回は平成18年度東大大学院工学系研究科システム量子工学の入試問題です。

問題は

「長軸半径 α 、短軸半径 b の楕円に内接する長方形のうち、面積が最大となるものの面積を求めよ。」です。

図1に示した楕円に内接する長方形(赤色線)の面積の最大値を求める問題です。



▲図1. 問題を図示しました

長方形の縦横の辺の長さや頂点の座標値などを変数として長方形の面積を表し、楕円の式を使ってその最大値を求める方法が見通しが良いのですが、ここでは、円とその内接する面積最大の長方形を、x、y軸方向にそれぞれα、b倍して、円→楕円、円に内接する面積最大の長方形→楕円に内接する面積最大長方形、を利用しましょう。

まず、円に内接する 2 個の長方形があって、それらを x、 y 軸にそれぞれ α 、 b 倍したとき、 2 個の長方形の面積の大小関係が保たれるかを調べておきましょう。

図 2 に、円に内接する 2 個の長方形を示します。赤色の長方形の頂点 A (p,q) と青色の長方形の頂点 B (r, s) は、どちらも円周上にあります。



▲図2. 円に内接する2個の長方形

すると、 Sa=2p×2q=4pq Sb=2r×2s=4rs なので、(1)から、 pq>rs (2)

となります。

次に図 2 を x 、 y 軸をそれぞれ a 、 b 倍し、それらを X 軸、 Y 軸とします。 この操作は、 x → X/a 、 y → Y/b と変換 することで、図 2 は図 3 のように変換されます。



▲図3. x→X/a、y→Y/bの変換

ここで、A'およびBのX、Y座標は、

 $p' = \alpha p$

q' = b q

r'= a r

s' = b s

と変換されるので、

Sa' = 4abpq

Sb' = 4abrs

となり、(2)から、 Sa'>Sb' となります。

つまり、円に内接する2個の長方形があって、それらをx、y軸にそれぞれa、b倍しても、2個の長方形の面積の大小関係は保たれることになります。

これが明らかになれば、あとは簡単で、円に内接する長方形でその面積が最大になるもの(ご存知の通り、正方形です)を調べればOKです。

そこで図3に示すように、円に内接する長方形を描き、頂点Aの座標を(p,q)(0 < p,q < 1)とします。



▲図3. 円に内接する面積最大の長方形

長方形の面積 S は、 S=4pq (3) で、A は円 $x^2+y^2=1$ の周上にあるので、 $p^2+q^2=1$ (4) が成り立ちます。

(4) から、 $q = \sqrt{(1 - p^2)}$ で、これを (3) に代入して、 S = 4 p $\sqrt{(1 - p^2)}$ = 4 $\sqrt{(p^2 - p^4)}$ $= \sqrt{(-4 (p^2 - 1/2)^2 + 1)}$ となります。

ここで、S が最大になるのは、 $p\sim2=1/2$ $p=\sqrt{(1/2)}=\sqrt{2/2}$ のときで、このとき、 $q=\sqrt{2/2}$ となり、p=q つまり、正方形になるときです。

したがって、円に内接する長方形でその面積が最大になるのは正方形ということが判ったので、これらを x 、y 軸方向 にそれぞれ α 、b 倍すると、 $(\sqrt{2}/2,\sqrt{2}/2)$ は、 $(\sqrt{2}\alpha/2,\sqrt{2}b/2)$ になり、楕円に内接する面積最大の長方形の面積は、 $2\alpha b$ となり、これが答えです。

次回も楕円の問題を取り上げます。問題は、平成16年度東大大学院工学系研究科環境海洋工学の入試問題で、「図において線分ABは楕円 $x^2/a^2 + y^2/b^2 = 1$ の接線である。但し、aは正の定数である。三角形OABの面積の最小値を求めよ。



です。

興味のある人は調べてみてください。

東<u>久留米の学習塾</u> 学研CAIスクール 東久留米滝山校 http://caitakiyama.jimdo.com/ TEL 042-472-5533